

南山の風

オーロラ行楽 inラウンドワン&びっくりドンキー!!!

10月1日オーロラ秋の行楽を開催しました!!!
今回はスポーツの秋と題して、ラウンドワンにみんなが
楽しく明るく元気よく!身体を動かして行きました♪(^-^)



←みんなでローラースケートに挑戦!!!
シャキッと立ってたたずむ姿はプロ顔負け!?
みんな飽きることなく汗だく状態になるまで
一心不乱に滑走し続けていましたΣ(・ω・ノ)ノ!



この汗を見よ!

スポーツの秋。次は食欲の秋ですよ(笑)
夕食はジューシーおいしいハンバーグ♪
みんなでびっくりドンキーへ向かい、お腹いっぱい
ハンバーグを頬張りました(*´ω`*)
美味すぎるハンバーグにみんなご満悦な様子です→
みんなでいい汗をかき青春を桜花した素敵な行楽と
なりました。 (文責:保育士 金子真唯)



幼稚園

南山寮の子ども達が行っている広路幼稚園の運動会が、名古屋市昭和スポーツセンターで行われました。南山寮の幼児さんたちも参加。未就園児さんたちも応援という形で参加しました。



年少さん



未就園児の子ども達も応援に駆けつけました。

年中さん



年長さん



年少さんのかわいいダンスや、年中さんがいつも練習をがんばっていたリレー、年長さんのマーチングや組体操など盛りだくさんの運動会でした。普段あまり見ることのできない、友達と仲良くしている姿や幼稚園での生活の集大成を運動会と言う形で見ることができ、子ども達の成長に感動を覚えました。

(文責：保育士 妹尾善之)



地域小規模児童養護施設

みなみ通信 11月号

*ぶどう狩り (みなみ行楽) *

4月からみなみでの生活が始まり、初めての全員そろっての行楽を行うことが出来ました。これまで、みなみでの行楽は何度かあったのですが、テストやアルバイト等で子どもたち6人と大人3人での行楽は今回が初めて！ 異年齢で行動するのでどうなるかと思いましたが、みんな楽しく過ごすことが出来ました。

ほとんどの子どもが、初めてのぶどう狩りということで、わくわくしていました。自分たちで好きなぶどうを選び、はさみで切り取り、ぶどうの果汁でベタベタになりながら小学生でも2〜3房ほど食べ、「もういらない〜」と言うまで食欲全開でした。



年少の子どもたちは思いっきり食べ、走り回った結果… 帰りの車では疲れてすぐに寝てしまいました。とても楽しかったのか、帰った後も「また行きたいな〜」「また巨峰食べたいね〜」などと話していました。

(文責： 保育士 多湖千夏)



★コメット小学生行楽で東山動植物園へ★



迷わずに行ける
かな～？



10月7日(土)にコメットの行楽で小学生を連れて、東山動植物園へ行ってきました。高学年は自転車で地図を見ながら向かいます。初めて通る道が多く、不安が大きかったですが、無事にたどり着くことができました。

お昼は自分で作ったお弁当を美味しく頂きました。普段見ることが出来ない動物をたくさん見られて、帰り際は「え～もう終わり？」「まだ、帰りたくな～い。」と帰りを惜しむ声も。とても充実した1日を過ごせました。

(文責：児童指導員 大島菜月)

ヤッホー！！



みんなでハイチーズ！！



フィリップモリスジャパン様による 清掃ボランティア



フィリップモリスジャパン合同会社の皆様は、毎年秋になると、南山寮の園庭の清掃ボランティアに来て下さいます。2013年か

ら、児童虐待防止活動の一環として、児童養護施設における清掃ボランティアに力を入れるととも

に、子どもたちが大好きなジュースやケーキの寄贈をして下さっています。今では、フィリップモリスの皆さんの訪問は、私たちにとって秋の訪れを感じさせるものとなっています。

10月5日は、夏の名残を感じさせるような蒸し暑い日でした。今年も5名の社員の方々が、半日かけて、南山寮の園庭や通路の清掃活動に！南山寮の園庭に住むヤブ蚊には、虫よけスプレーをどれだけ手足に塗っても効果が薄いようで、あちこち蚊に刺されながらも、季節外れの暑さの中、汗びっしょりになりながらも、懸命に落ち葉を集め、草取りをして下さったのです。

本来ならば、職員が子どもたちと一緒に園庭の清掃をするのが望ましいのですが、日々の忙しさに追われ、ついつい後回しになってしまう箇所を、南山寮で暮らす子どもたちが、少しでも気持ちの良い環境で過ごせるようにと、皆さんでキレイにして下さいました。落葉や草でいっぱいになったゴミ袋が玄関前に15袋・・・並んだゴミ袋の数を目の当たりにして、これがフィリップモリスジャパンの皆様による善意の結晶であるのだと改めて敬服しました。また、子どもたちにお菓子もいただき、清掃の後は、学校から帰ってきた子どもたちに声を掛け、キャッチボールをして下さる場面もあり、職員一同感謝の気持ちでいっぱいです。

<文責：施設長 山田 勝己>



愛知育児院の歴史は語る！ ⑱ 南山寮の子どもへの無償の愛～水野慰子保母長～①

あはれなり 夜半に捨て子のなき止むは

ははに曾ひ祢(添い寝)の ゆめや見るらむ

愛知育児院南山寮には、一首の短歌が染めつけられた「夜寒焼」の陶器茶碗が残されています。その茶碗がおさめられている箱には「愛知育児院開院式の記念品」との書きつけがあり、箱そのものにも「愛知育児院成工式記念茶碗夜さむ焼」と記されています。「夜寒焼」とは明治後期(明治29年から42年ごろ)に現在の熱田区夜寒町で焼かれた陶器です。冒頭に紹介した夜寒焼の陶器茶碗に染めつけられた児童福祉の教訓のごとき歌は、水野慰子(やすこ)保母長が詠まれたものだといわれています。「愛知育児院開院式」とは、矢場町白林寺から現在地に移転した明治42年開催の式典を指すと考えられます。水野保母長は、宮内省に女官として務め、青山御所(離宮)で英照皇太后にお仕えしていたという異色の経歴の持ち主です。水野慰子保母長の名は、明治39年から大正8年までの「日誌」に頻りに登場します。子どもたちに無償の愛を与えた水野保母長は「南山寮のお母さん」と慕われていました。



コラム

南山隼人

平和国家として独立した日本国の恩人

愛西市の真宗大谷派明通寺に、ジャヤワルダナ顕彰記念碑がある。いまの日本があるのは、元スリランカ大統領のジャヤワルダナ氏の仏教精神に基づく慈愛の実践によるものだ。太平洋戦争で敗戦国となり、アメリカの統治下に置かれた日本は、戦勝国(アメリカ・ソ連・イギリス・中国)により分割統治される恐れがあった。日本が独立すると再び軍国主義が台頭し、アジアの脅威になると考えられたから。昭和26年のサンフランシスコ対日講和会議では、日本に対する巨額の戦争賠償と分割統治案が強硬に討議された。その会議の流れを変えたのが、セイロン(現スリランカ)政府代表のジャヤワルダナ蔵相の演説だった。氏は、「アジアの将来にとって、完全に独立した自由な日本こそが必要である」と強調し、分割統治案に反対した。また、「憎しみは憎しみによって止まず、愛によって止む」という仏陀の教えを引用し、対日賠償請求権の放棄を宣言し、各国にも同意を呼びかけた。戦時中、イギリス連邦の自治領だったセイロンが、日本の空爆を受けたにもかかわらず、賠償の放棄を宣言したことは、まさに仏陀の説く慈愛の実践である。多くの参加国に感銘を与え、インド、ラオス、カンボジアが同調を示し、ついには平和国家日本としての独立が認められるに至った。ジャヤワルダナ氏の発言に吉田茂首相は感泣し、翌日の日本の新聞は「ジャヤワルダナは兄弟愛を訴えた」と報じ、アメリカのタイム誌は「会議においてもっとも有能なアジアの代表者はジャヤワルダナであった」と絶賛した。その後、日本はスリランカにとって最大の資金援助国となる。

ジャヤワルダナ氏は、昭和天皇の大喪の礼の際、強く希望を示し、当時の大統領に代わって参列された。ジャヤワルダナ氏は、亡くなる際に「右目はスリランカ人に、左目は日本人」と遺言し、日本人に角膜炎を寄贈された。「自分はこれからスリランカと日本の両方の国を見ていきたい」という想いが込められたのだ。スリランカは、ジャヤワルダナ氏の影響により、日本に対して多くの角膜炎を提供してくれており、今でも日本人への角膜炎提供率は世界一だと言われている。

広島原爆資料館には、ジャヤワルダナ氏の筆跡が遺されている。氏がこの世を去る5年前、サンフランシスコ講和会議から数えて40周年の記念の年に、仏教関係者の招きにより日本を訪問した。原爆資料館を見学した際、氏は次のように記帳した。「人を殺したい、人を傷つけたい、人間同士の憎しみの感情を広めたいという欲望を、非暴力が人間から永久に消し去ってくれますように」。氏は、その後、原爆ドームを訪問し、平和祈念公園の犠牲者の碑に献花し手を合わせた。広島を離れる際、日本のメディアに向けて次のようにメッセージを発した。「人々は、国家間の暴力を止めなければならぬ」。ゆっくり、はつきり、そして力強い言葉で日本に、世界にそう伝えたのだ。このエピソードをスリランカの人たちはとてもよく知っているのだが、恩恵を受けたはずの日本人の殆どが知らないという現実を、ジャヤワルダナ氏は天界からどのように見つめているのだろうか。(リョウチョウ)

平成29年 11月号

(月刊：毎月1日発行)

<明治19年10月 第三種郵便物無認可>

発行：社会福祉法人 愛知育児院
児童養護施設 南山寮

編集責任者：施設長 山田 勝己

〒466-0835 名古屋市昭和区南山町5番地

TEL (052)831-3750 FAX (052)835-7483

e-mail: nanzanryo.1909@space.ocn.ne.jp